

(令和元年度単年度経営計画)

(公財)きょうと京北ふるさと公社	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	-----------------------

基本事項

所管局課	産業観光局農林振興室農林企画課	本市出えん金	25,000 千円
基本財産/資本金	30,000 千円	本市出えん率	83.3 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	自律化	目標年度	令和2年度
-----	-----	------	-------

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	<p>公益事業については、公社事業の柱として農地・農業に伴う地域課題に積極的に取り組み、京都京北未来かがやきビジョンに基づく「米工房」の整備や、「農の学校」の創設等を推進する。これにより、地域農業を守り支え、担い手となる新規就農者の育成を図る。</p> <p>また、地域特産物の生産拡大や地産地消の推進、地域内の組織団体と連携した空き家紹介(活用)に取り組むなど、地域の活性化に繋がる事業も継続して行う。</p> <p>なお、地域公共交通事業については、将来にわたってバス運行が存続出来るよう、利便性のある効率的な運行を目指す。</p> <p>収益事業については、貸館事業の利用率向上を図るとともに、指定管理を受けている地域特産物需要拡大センターや宇津峡公園の運営事業についても、申請時の計画に基づき集客(利用客)と収益の増加を目指す。</p>
財務面	各年度の計画に基づき健全な予算執行を行い、費用対効果、経費節減に努めるとともに、収益事業では収益率を高め、公益事業を補完するための十分な収益確保を目指す。
組織面	安定した公社運営を行うための組織を構築するため、組織強化を図るための正職員並びに嘱託職員の増員を計画的に行うとともに、スキルアップのための職員教育に取り組み、公社運営を担える人材育成に努める。
その他	特になし

当年度の取組目標に対する意見

所管局	<p>京北地域の農業を将来にわたって支えていくため、京北米のブランド化に向けた「米工房」の整備や、京北子宝いも等の地域特産物の生産拡大に向けた取組、担い手育成のための農業研修生の受入等、これまでの既存事業に加えて地域の活性化に向けた課題解決に取り組む姿勢は評価できる。</p> <p>また、令和元年度からも引き続き受託することとなった指定管理業務を軸として、収益事業を強化し、収益力の向上を図るとともに、安定的な公社経営に向けて、公益事業及び運営体制の効率化を進めるなど、経営改善に向け、更なる努力をしてもらいたい。</p>
-----	--

当年度の「今後の方向性」の進捗状況及び各取組に対する総括(※)

団体	<p>自律化に向け、業務面において、収益確保に繋がる事業展開を図るため、定款変更により令和3年度から実施事業が追加出来るよう、検討を進めている。</p> <p>財務面では、収益事業に携わる職員の意識改革等により、様々なアイデアを登用できる環境を整備し、収益率を高めるための運営に努めた。さらに、正規職員の給与規程の見直し等にも取り組んだ。</p> <p>組織面でも、長期的に安定した組織体制を確立するため、正職員の登用規程を整備し、若い優秀な人材が確保できるよう工夫した。</p>
所管局	<p>公益事業では、今後の京北地域の農業の活性化につながる取組として、京北米のブランドロゴや統一パッケージの作成等、ブランド化の推進を地域の中心となり進めており、評価できる。</p> <p>収益事業は、新たなサービスの提供等により目標を上回る実績となった。その結果、財務面において、当期経常増減額、当期正味財産増減額ともに黒字化された。引き続き収益事業での収益確保を図るとともに経費削減を進めるなど、適切な経営管理が求められる。</p>

(令和元年度単年度経営計画)

(公財)きょうと京北ふるさと公社		令和元年度経営計画 兼 経営努力結果	
本市のえん率引下げに向けた実施計画			
中期経営計画における取組内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	自律化に向けた協議	自律化に向けた協議	自律化の実行
当年度目標	自律化に向け、経費の削減やサービスの質の向上などにより、経営改善を図るとともに、京都府、京都市の担当課と速やかに協議を行い、京都市のえん率の引下げに係る具体的な方策をとりまとめる。		
当年度結果(※)	自律化に向け、業務面において、収益確保につながるよう事業展開を図るため、定款変更により令和3年度から実施事業が追加できるよう、検討を進めており、あわせて京都市のえん率の引き下げの協議を行っているところである。		

(1)業務に関する取組

目標1「農地集積事業実績の拡大」	
中期経営計画における取組	農地利用集積円滑化団体として、農地の「中間保有・再配分機能」を活かし、利用権設定による農地の借り受け、貸し付け並びに売買等に関わる事業を推進し、貸手と借手の斡旋業務として担い手農家の規模拡大や、新規就農者の支援活動に積極的に取り組むとともに、地域内の優良農地の保全と景観の維持に努める。
当年度目標	公社の広報紙など、地域への広報活動により、利用権設定実績が向上してきた。引き続き、売買農地や貸借農地の情報収集に取り組み、利用を希望する農家や新規就農者への斡旋を強化する。
当年度結果(※)	前年度からの継続物件11件の農地売買の登記を完了した。また、新たに1件の委託を受けており、登記までの事務を完結するべく、手続きを進めている。 引き続き地域内での農地の保全管理や効率的な農業の実施を推進し、担い手農家の規模拡大や新規就農者への耕作地の確保等の活動に取り組む。

指標	利用権設定実績 (単位：件)							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	—		3		5		5	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	1	0	3	14	5	11	—	

目標2「便利屋事業の利用拡大」	
中期経営計画における取組	人口減少や高齢化に伴い発生する多様な作業委託への対応や、後継者不足による農地の荒廃防止等を目的として、農作業や日常生活に於ける地域住民の幅広い要望に応え得る積極的な事業を展開する。
当年度目標	公社の広報紙やチラシ配布等により事業のPRを行うとともに、地域からの様々な要望により多く応えることで、事業実績の拡大を図る。
当年度結果(※)	草刈りを中心とした地域からの幅広い農作業依頼に応えられるよう、作業を受託してきたが、作業者の高齢化と新規人材登録者の不足等により、作業依頼に対応できない状況が生じており、今後に課題を残す結果となった。 令和元年度の事業実績としては、受託件数は減少したが、受託金額では前年並みとなった。

指標	受託作業数 (単位：件)							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	440		450		450		450	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	430	416	450	329	450	287	—	

(令和元年度単年度経営計画)

(公財)きょうと京北ふるさと公社	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	-----------------------

目標3 「農業研修生の受入れ」	
中期経営計画 における取組	地域課題である農業担い手不足の対策として、新規就農を目指す研修生を地域内外から計画的に受け入れ、2年間の研修後の独立・自営就農により、地域農業の後継者として育てることを目標に取組を進める。
当年度目標	地域の農業の担い手を確保するため、引き続き、京都府のジョブカフェや公社のホームページからの情報発信を強化し、就農希望者の受入拡大に努める。
当年度結果 (※)	研修生の門戸は広げているが、京都府ジョブカフェや公社への就農相談も無く、前年度に続き、地域担い手確保のための新規就農者の受け入れは出来なかった。

指標	研修生受入数 (単位：人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	—		2		2		2	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	1	1	2	0	1	0	—	

目標4 「地域特産物と地産地消の取扱い拡大」	
中期経営計画 における取組	「地産地消」や「食育」の取組として、京北地域の各小学校に米飯給食用の米を提供するため、従来の野菜に加え、米栽培の面積拡大(公社から地元農家への依頼面積含む)に取り組む。 また、新京野菜「京北子宝いも」について、京北名のついたブランド野菜として、「子宝いも栽培研究会」とともに生産拡大に取り組む。
当年度目標	地産地消の取組を推進するため、学校給食への米の安定供給や、京北米のブランド化に向けた「米工房」事業については、地域や行政との連携のもと、継続して取り組む。 また、子宝いものブランド力の維持と安定供給に向け、生産者数の確保が必要であることから、「子宝いも栽培研究会」とともに、子宝いもの普及と生産拡大に取り組む。
当年度結果 (※)	今年度は、1度限りではあるが、市内全域の小中学校の米飯給食用のコシヒカリ約5,800kgを供給できたことから全体で前年度の3倍以上となる7,800kgを供給することができた。こうした取組が奏功し、若干ではあるが、水稻栽培面積を拡大することができた。 京北子宝いもについても、地域の特産物として売り上げを伸ばしており、生産者組合である「子宝いも栽培研究会」への情報提供等により、生産拡大を行うことができた。

指標1	米の栽培面積の拡大 (単位：a)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	—		200		250		300	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	140	147	200	169	200	200	—	

指標2	京北子宝いもの生産者拡大 (単位：件)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	—		20		22		24	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	18	18	20	20	22	27	—	

(令和元年度単年度経営計画)

(公財)きょうと京北ふるさと公社	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	-----------------------

目標5 「交流施設(京都市宇津峡公園)の利用者拡大」	
中期経営計画 における取組	京都市の指定管理者制度による指定管理者として、都市・地域住民との交流、森林資源、桂川の清流等京北地域特有の自然環境を生かした安心安全な屋外レクリエーションの場としての施設運営に努める。
当年度目標	上桂川沿いにあるラフティング体験の実施をはじめ、地元農家と協力した野菜収穫体験の実施、利用率の低い冬場の対策としてクリスマスキャンプやバレンタインキャンプなどのイベントを積極的に行うことで、利用者の増加と収益の向上を図る。
当年度結果 (※)	令和元年度は、GWが10連休となったことから、利用者も増え、良好なスタートを切ることが出来た。 夏から秋にかけては、土・日の荒天による予約キャンセルもあったが、昨今のアウトドアブームを受けて企画した「年越しキャンプ」等施設の冬季利用により、例年数件程度のオートキャンプ場の利用状況が、100区画以上の利用実績をあげることができた。 2月以降は、新型コロナウイルス感染症による予約キャンセルが懸念されたが、家族連れ利用者が増加し、3月の利用者数は過去最高となるなど、年間の収入実績も過去最高となった。

指標	施設利用者数 (単位：人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	—		11,900		12,150		12,400	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	11,300	11,579	11,900	10,945	12,150	11,623	—	

目標6 「地域特産物利用拡大施設(道の駅ウッディー京北)の入館者拡大」	
中期経営計画 における取組	京都市の指定管理者制度による指定管理者として、地域野菜や加工品(食品・木作品その他)等の地域特産物の利用拡大を図るとともに、「道の駅」としての休憩・情報発信・地域連携の3つの機能を果たす。
当年度目標	新たに雇用したシェフの柔軟な発想を活かし、地域野菜を使用したメニュー開発に取り組むとともに、パッケージデザインやロゴ等の作成、詰め合わせ商品の開発など、地域特産物のブランド化を図る。更には、農地利用集積円滑化事業で借り受けた農地で栽培した野菜を販売するなど、利用者に対するサービスの質の向上により、入館者の拡大に繋げる。
当年度結果 (※)	令和元年度は、一年を通して比較的平穏な気象状況で推移したことから、入館者並びに総売上高共に昨年実績を上回った。特に売上高は1億6千万円を超え、道の駅始まって以来最高の実績となった。

指標	入館者数 (単位：人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	—		410,000		420,000		430,000	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	398,000	408,711	410,000	379,384	420,000	398,929	—	

(令和元年度単年度経営計画)

(公財)きょうと京北ふるさと公社	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	-----------------------

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	収支見通し	実績	
経常収益	232,000	225,639	230,000	236,872			
経常費用	239,000	229,617	243,000	231,839			
当期経常増減額	△ 7,000	△ 13,498	△ 13,000	5,033			
当期正味財産増減額	△ 7,000	△ 16,630	△ 13,000	1,251			
資産合計	-	156,084	-	161,050			
負債合計	-	36,773	-	40,487			
正味財産	-	119,312	-	120,563			
うち累積損益額	-	89,312	-	90,563			

目標「収益事業による収益確保」

中期経営計画 における取組	公益事業を補完するための収益事業における収益をより確保するために、事務経費や人件費、原材料の仕入れなど経費の節減に努め、費用対効果を追及するとともに、施設利用による貸館事業では、より効果的な収益確保と多くの利用を促すための地域へのPR活動等を行う。
当年度目標	新たに雇用したシェフの柔軟な発想を活かした地域野菜を使用したメニュー開発や、魅力あるイベントの実施により、利用者の増加と収入の向上に繋げるとともに、経費の節減に努め、収益拡大を図る。
当年度結果 (※)	貸館事業では、『田舎ぐらし体験施設』による安定した使用料収入と、23件の公社施設の葬祭利用があったため、当年度は目標以上の実績を残す事が出来た。 また、「道の駅ウッディー京北」及び「宇津峡公園」については、年間を通じて平穏な気象条件により、自然災害等による道路の不通や施設閉鎖日も無く、順調に営業することができた。特に宇津峡公園については、アウトドアブームを受けて企画した「年越しキャンプ」等により、冬季に於いてもオートキャンプ利用がこの時期としては好調であった。その結果、両施設とも来客数が昨年を上回り、収入においても両施設とも過去最高の実績であったことなどから、目標以上の実績を残すことが出来た。

指標1	道の駅ウッディー京北喫茶部門の純利益の増加								(単位:千円)
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	1,500		900		1,200		1,500		
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績	
	700	75	900	922	1,200	1,621	-		

指標2	宇津峡公園の純利益の増加								(単位:千円)
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	500		600		700		800		
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績	
	△ 150	194	600	464	700	1,317	-		

指標3	公社施設の貸館利用に伴う純利益の増加								(単位:千円)
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	900		500		700		1,000		
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績	
	120	448	500	479	700	2,047	-		

(公財)きょうと京北ふるさと公社	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
------------------	-----------------------

(3)組織に関する取組

目標「安定的な運営のための計画的な人材確保」

中期経営計画 における取組	<p>本公社の将来を見据え、また京北地域に必要で継続的な事業運営を行うため、定年等による退職者の補填も含め、安定的な身分の職員(正規職員及び嘱託職員)の確保に努める。</p> <p>正規職員については、平成28年度に農に関する事業に伴う正規職員を採用し、その後も地域雇用の創出として、各事業部に最低1名の正規職員が配置出来るよう取り組む。</p> <p>嘱託職員については、ウッディー京北における業務の円滑化や正規職員の補佐的な役割が果たせるようパート職員からの変更や、定員に達していない地域交通事業部バス乗務員の人員確保に努める。</p>
当年度目標	<p>定年退職等による欠員が生じる可能性も考慮し、将来的にも安定かつ継続的な事業運営ができるよう、特に有資格者が必要な地域交通事業部ふるさとバス及びスクールバス乗務員や、欠員となっているウッディー京北の嘱託職員について、人材確保に努める。</p>
当年度結果 (※)	<p>正規職員については、目標人数を達成し、各事業部に最低1名の配置ができた。</p> <p>嘱託職員については、依然として退職者等の補充が困難な状況であり、前年度数を確保する事が出来なかった。</p>

指標1	正職員数 (単位：人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	5		4		4		4	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	4	4	4	4	4	5	—	

指標2	嘱託職員数 (単位：人)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	24		18		18		18	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	16	16	18	16	16	15	—	